



第14号
2021年
3月31日



有明台小学校区
コミュニティ協議会
会長 関川 弘 雄

新しい年を迎え、ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には、日頃から有明台小学校コミュニティ協議会（以下「コミ協」という）の各種活動にご協力いただきお礼申し上げます。ここでは新しい年に向けて皆様が健康で暮らせるような取組みを紹介し、皆様からのご支援を承りたいと考えています。

「コロナ禍のもとにあつて」

新型コロナウイルス感染症は、全国的に蔓延し、新潟市でも昨年2月末に最初の患者発生がありました。その感染予防には、マスクの着用、手洗い、「3密」（密閉・密集・密接）の回避が大切とされ、人々の移動や会

新しい年に向けて
— みんなが暮らしやすいまちづくり —

合などが制限（自粛）されました。このような状況にあつて、コミ協では、多くの会議やイベントなどの開催を自粛しました。それでも感染予防を徹底して毎月のコミ協の理事・専門部会正副会長会議の開催や有明台小学校ふれあいスクール、地域と学校パートナーシップ事業、4年生と一緒に関屋分水路右岸の「花文字花壇づくり」

年齢化や人口減少が加速する中、地域活動の担い手が不足しています。当コミ協では、地域のつながりを深め、暮らしやすさを支える活動を無理なく続けられるように、新潟市の地域コミュニティ協議会育成事業（モデル事業）に応募して、市や「NPO法人まちづくり学校」と共に活動内容や体制のみなおしを行うことにしました。第1回勉

ふれあいスクール、たつまきキッズ、やまわりクラブ「帰宅支援」などが行われています。前者は、水曜日（午後3時～4時30分）と土曜日（午前9時～11時30分）に体育館、プレイルーム、図書室を使い、地域の人たちと色々な遊びが行われ、後者は、毎日「有明台ひまわりクラブ」の一人帰り児童帰宅支援活動を行い、冬の暗い雪道を児童と一緒に児童宅まで送り届ける帰宅支援ボランティアに賞賛の声が多く寄せられています。ただ、残念な事にふれあいスクールも帰宅支援ボランティアも地域の協力の人数が不足しています。皆様からの多数のご参加をお願いします。



（詳細は後述）などを実施しました。今年の3月になってコロナウイルスのワクチン接種が開始され、感染予防が図られ、コロナ感染拡大が抑制されると考えます。

「地域コミュニティ育成事業（モデル事業）」の開始

有明台地域のこれからをみんなで考える勉強会が始まりました。少子高

強会を1月20日に、第2回は2月19日にコミ協専門部会の方々の参加を得て実施しました。様々な意見交換がなされ、現状と予測される将来への問題点が浮き彫りにされました（詳細は後述）。

「子どもたちの安心安全に向けて」

放課後の児童の安全を守る事を目的に、地域の人々の協力を得て、

これからもみんなが暮らしやすい街づくりにご協力下さるようお願いいたします。

特集 関屋分水路右岸

◎有明台小学校 戸川校長からお礼文が届きました。

(略) このたびは、当校4年生児童の「総合的な学習の時間」の学習として、関屋分水路の花文字植栽に際し、計画・打合わせ等にご尽力いただき誠にありがとうございました。

1年越しの計画が実った事への驚きと喜びで、子どもたちも一生懸命作業をさせていただきました。

また、先日には新潟日報に大きく掲載され、学年で記事を読みました。本当にかけがえのない貴重な経験をさせていただき、感謝しております。(略)



◎有明台小学校児童からお礼文が寄せられました。

先月は、花文字の花植えの事をお手伝いしてくれたり、いろいろなことをしてくれてありがとうございました。花だんの用意、計画など立ててくれて本当にありがとうございました。

私が感じたこと、学んだことは3つあります。

一つ目は、きれいな花がたくさん集まることによって、文字が出来るということです。最初は、小さなお花だったけど、たくさん用意して並べると、文字になるのがちょっとおどろきました。

二つ目は、花の種類のことです。今日は「ビオラ」という花を植えました。私は「ビオラ」を初めて知ったし、見たりさわったりしました。とてもきれいで、少しいいにおいがありました。

三つ目は、植え方です。ふかくほって、ポットからなえをとりだして優しくほった土をかぶせることです。私は、あさくほったので、「もっとふかくほるといいよ」とアドバイスをしてくれたりして、とてもふかくほって見たら、なえがちょうどいいかんじではいました。花植えは楽しかったです。(渡部 実佳さん)



花文字花壇づくり事業

1 経緯

(1) ある学年の児童が「有明台小学校の歴史と文化」を学ぶ授業の中で、関屋分水路の役割等について考えました。さらに、対岸の西区の「花文字花壇」を遠くに見て、「私たちも関屋分水路にきれいな花を植えてみたい、育ててみたい、中央区をもっときれいなまちにしたい」という思いが生まれました。

(2) 子どもたちの熱い思いや夢が、有明台小学校区コミュニティ協議会に伝えられました。コミ協議会で協議されましたが、新型コロナウイルス感染症で主催事業がごとごとく中止又は延期されている中で、取組みは困難であるとの反対意見が多く寄せられました。それでも、子どもたちの夢を実現させたいという意見も強く、寄付金を募りながら取組みを決定しました。

(3) 花文字は、児童が考えた4つの候補から「有明台へようこそ」に決定し、今年の花の種類は耐寒性が強いビオラを選定しました。

3 植栽当日

関屋分水路及び周辺地域の環境美化を推進します。

(1) 当日は、秋晴れの最高のお天気に恵まれました。現地会場では、手指消毒液を用意し、検温計で有明台小学校児童を含む総勢75名全員の体温をチェックしました。

(2) 参加者全員がマスクを着用し、新型コロナウイルス感染症対策のチェックリストにより確認。

(3) 主催者を代表して関川コミ協会長の挨拶に続き、来賓の白井関屋出張所長、五十嵐建設課長補佐、戸川有明台小学校校長及び布施関屋モリ上げ隊長のご挨拶。

(4) ビオラの植え方について指導。

(5) 児童は各花文字毎に分かれて用意した赤や黄色のビオラ約600株を植栽。

(6) 児童を代表して、内田澄海さん、平澤帆乃果さんがお礼のあいさつ。



花文字「有明台へようこそ」花壇完成!

4 感染症との闘い

(6) 丸山コミ協議会長の閉会の挨拶の後、参加者全員で記念撮影。

当初、植栽時期を令和2年3月に予定していた所、2月になっ

5 収支実績

花壇づくり事業の収支は次のとおりです。寄付についてご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

(単位：円)

収入の部		支出の部	
新潟市地域活動補助金	200,000	花壇設置費	401,500
コミ協負担金	100,000	花苗費	99,000
寄付金	250,000	材料費	49,500
収入合計	550,000	支出合計	550,000

6 来年度に向けて

(1) 4つの候補から子ども自身で決定した花文字「有明台へようこそ」の花壇をつくることのできたという達成感と、夢が実現したことによる子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

(2) 「わたしたちが今日植えた花が、春、今よりもっときれいに大きく育ってほしいです。手入れも、わたしたちがもしできる時があればしていきたいです」と、春に向けて子どもたちの意気込みが感じられます。

「ありしよう応援隊」活動報告及び「たつまきキッズ(ふれあいスクール)」

教育文化スポーツ部会

たつまキッズ (ふれあいスクール)

新型コロナウイルス感染症により中止になっていたふれあいスクール(たつまキッズ)は9月より再開し、子どもたちは大喜びで元気に活動しています。

児童の参加率は市内の参加校中トップクラスで、毎週100人超えを続けています。毎週水曜日と土曜日に開催しています。今年で13年目になります。



体育館で思いっきり!



何ができるかな?

「ありしよう応援隊」活動報告

新潟市教育委員会「地域と学校パートナーシップ事業」に取組み、今年で11年目の活動を無事終えることができました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で水泳教室が中止になるなど活動が縮小しましたが、延べ359名のボランティアの方から参加していただきました。ご協力ありがとうございました。来年度も引き続き「学校が元気に!」地域が元気に!そして子どもたちが元気に!となるよう、さまざまな活動を行ってきたいと思います。

なお、学校支援ボランティア「ありしよう応援隊」の隊員を募集中です。

隊員は、1年毎の登録制です。主な活動は、郊外学習等の引率、各教育活動の補助、特技や興味を生かした学習支援等で、都合がつく場合ボランティアに参加していただけます。地域の宝である子どもたちを応援してください。

◆地域教育コーディネーター
渡邊琴子、倉澤布美子
問い合わせ先 090-5556-1622-1

〈ひとくちメモ〉

ふれあいスクール	項目	ひまわりクラブ
地域の子どもは地域で育てる	目的	家庭代わりの保育
小学生全員	対象	登録した小学生
無料	負担	利用料8400円/月
週2回	日時	月~土曜(授業終了後)
地域や保護者のボランティア	スタッフ	放課後児童支援員
文部科学省	所管	厚生労働省



5年生 ミシン (エプロン)



3年生 昔の道具と暮らし



1年生 体験型安全教室 (不審者対策)



6年生 合奏



4年生 のこぎり (鉛筆立て等)



2年生 町探検 (有明台交番)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がスタート!

Q1 コミュニティ・スクールとはなんですか?
学校運営協議会の意味で、「子どもたちのために保護者、地域、学校、みんなで考えていきたいと思います」とを合言葉とし、地域の思いとともに、未来を託せる子どもを育てていくことを目的とした新しい仕組みをつくりまします。

Q2 いつからスタートするのですか?
有明台小学校及び関屋中学校は、令和4年度からスタートする予定です。

Q3 新しい仕組みがスタートしますが、その背景はなんですか?
社会の動向と子どもたちの教育環境が大きく変化しており、次の4つのキーワードに集約することができます。

Q4 主な役割は何ですか?
次の3点です。

- ① 学校教育ミッションを承認すること。
- ② 教育活動を点検し、評価し、改善の方策を意見できる。
- ③ 学校教育ミッション実現のための教職員への任用について意見できる。

Q5 協議会の開催方法は?
年3~4回開催とします。

Q6 協議会のメンバーは?
保護者、地域住民及び校長等の15名以内の合議体です。

Q7 3年度のスケジュールは?
5月~8月 コミ協議員に打診及び説明
8月~令和4年3月 PTAだより、学校だより、学校ホームページで概要を周知
8月~12月 関係機関に概要を説明

〈堀割町内の緑化〉

○開始 約10年前から取り組んでいます。

○場所 堀割町内会館兼堀割町水防倉庫周辺 (堀割町5-1地先)

○種類 ガゼニア、マリーゴールド、サルビア、日野草、ノースポール、芝桜等多種類

○補助金 花苗の購入に市緑化活動推進事業補助金を活用

○効果 植栽場所が地形的にくぼ地で、空き缶などのゴミ等が捨てられていましたが、植栽後はポイ捨てがなくなりました。



道路との段差を利用 会館前で花々

やすらぎ堤でチューリップを植えました

次世代を担う児童・生徒から、自らの手でチューリップの球根を植えてもらい、土に触れる喜びと花に対する愛着を育ててもらおうことを目的に、新潟市が平成6年度から実施している事業です。

〈参加者の声〉
春になると、やすらぎ堤を散歩しています。4月には、綺麗なチューリップの花が咲きますので、毎日の散歩が楽しみになります。(齊藤熊男様)

今年度も信濃川やすらぎ堤緑地帯で、市の花チューリップの植栽に参加しました。平成26年度からこの事業に参加しており、今年で7回目となります。

球根がモグラ又はネズミに食べられるという被害があり、今年度は今までの植栽位置が変更になりました。球根は400球を市から提供してもらいました。

秋晴れの10月21日、3、4年生全員が信濃川左岸堤防の2か所で、チューリップの球根960球を植えました。新型コロナウイルス感染症の予防のため、マスクを着用し、密集、密接に気を付けながら頑張りました。平成20年度から参加しているため、今年で12年目になります。

〈参加した児童の声〉
球根植えてがんばったことは、球根を深くうめることです。穴が浅い所や穴のはばがせまい所では特にがんばりました。去年のことを思い出しながら作業をしました。途中で去年の球根をみついている人がいてびっくりしました。春になったら、やすらぎ堤に行くとチューリップを見たいです。(4年生 柵木一秀さん)



ネットを利用して穴掘り



綺麗に咲きました



4年生

活動日誌

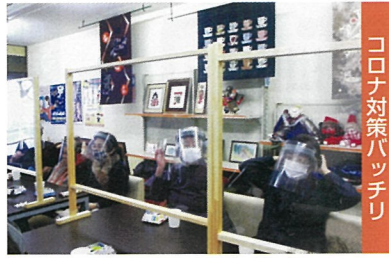
4月6日(月)	春の全国交通安全運動街頭指導(13日)
4月7日(火)	有明台小学校入学式(入学生・保護者・職員)
4月8日(水)	小学校新1年生下校時交通安全指導(13日)延べ68名
5月5日(火)	薬師神社春祭り(本祭り神事のみ)
6月4日(木)	3団体の令和元年度会計監査実施
6月5日(金)	有小校区交通安全推進協議会総会(紙面表決)
6月20日(土)	令和2年度3団体合同定期総会(書面表決)
6月26日(金)	第3回中央区自治協議会日野浦委員出席
7月7日(火)	関屋中学校防災教室事前打合せ
7月20日(月)	第1回理事・専門部会正副会長会議 17名出席
7月28日(火)	中央区防災士の会中央区支部設立臨時会議
8月3日(月)	信濃川下流河川事務所関屋出張所長と打合せ
8月17日(月)	関屋分水路右岸花文字花壇づくり打合せ
8月20日(木)	第2回理事・専門部会正副会長会議 16名出席
8月28日(金)	第4回中央区自治協議会防災士研修会
9月5日(土)	薬師神社秋季例大祭(神事のみ)
9月8日(火)	避難所運営講習会(りゅうとぴあ劇場)
9月9日(水)	地区社協第3期地域福祉
9月14日(月)	

9月20日(日)	活動計画策定リスニング
9月25日(金)	第3回理事・専門部会正副会長会議 15名出席
10月7日(水)	第4回中央区自治協議会避難所現地検討会(有明台小学校) 13名参加
10月8日(木)	中央区防災講習会(音楽文化会館)
10月13日(火)	避難所現地検討会(関屋地区公民館) 14名参加
10月15日(木)	中央区防災講習会(音楽文化会館)
10月20日(火)	第4回理事・専門部会正副会長会議 15名出席
10月21日(水)	関屋大川前4区自治会&有明台小学校・チューリップ植栽(やすらぎ堤)
10月26日(月)	関屋分水路右岸花文字花壇づくり植栽 4年生児童他67名参加
10月30日(金)	第6回自治協議会
11月9日(月)	地域コミュニティ育成モデル事業第1回打合せ
11月12日(木)	中央区町内会長感謝の集い(曾川勝様・永年勤続表彰)
11月17日(火)	地域と学校ウエルカム参観日(防災教育)(関屋中学校)
11月18日(水)	市長とすまいるトーク in 中央区(市民プラザ)
11月20日(金)	第5回理事・専門部会正副会長会議 17名出席
11月20日(金)	関屋分水路右岸花文字花壇づくり事業完了検査
11月25日(水)	第7回中央区自治協議会

6頁下段へ

居場所づくり 地域のお茶の間

福祉部会



コロナ対策パッチリ



勝負に夢中

【利用者様の声】
男性の参加者が少ないので、将棋や囲碁の趣味のある方はサロン団九郎を見学に来てみてください。コロナが収束し、お昼にあどばんすの美味しいお弁当が食べられる日が早く来て欲しい。(野島良一様)

地域のお茶の間 サロン団九郎
今年度の4月～5月はコロナ感染症のためお休みしました。6月8日より許可があり、お茶の間を再開しました。当分の間、10時から正午までとし食事は提供しないで一人ずつお菓子とお茶だけとし、利用者には自宅で検温してもらい、マスクの着用をお願いしています。会場内のテーブルの上にはアクリル板を設置し、フェイスシールドを全員に用意しています。受付で手指の消毒をお願いし、お話をする時はマスクをお願いしています。
再開当初は参加することに感染を警戒されている方が多く、10名～15名と少なかったのですが、7月頃から毎回20名前後に増えてきています。コロナ禍が落ち着いて参加者の方々が楽しく食事ができる日が早く来ることを待っています。男性の方も毎回参加しています。興味のある方は、いつでも見学においでください。お待ちしております。

福祉部会



見事な出来栄です



子どもたちもチャレンジ

【主催者様の声】
来年度も様子を見ながら、できそうなイベントは対策をしっかりと考えています。イベントの案内は、コンパスの窓に掲示していますので、お気軽に声をかけてください。

地域の茶の間 コンパス
今年度は感染症対策もあり、午前と午後には人数を分けて参加してもらうようにしました。換気や消毒など感染症対策を行い、午前と午後で3名ずつくらいで行いました。子どもたちも毎日ではなく、学校が早帰りの日などに、2、3人参加するという形でした。
他の地域から参加してくれた方も多く、少人数だけにいろいろな話が聞けて有意義であったとの感想もあり、悪いことばかりでもなかったことに気づきました。
折り紙教室など、行わなかったイベントもありましたが、年末のフラワーアレンジメントの教室は二日に分けて開催しました。正月に飾るためのきれいなアレンジメントができて、参加した方は満足そうでした。(二日目の子どもたちは写真のためにマスクを外しています。)

地域のお茶の間

にっこり食堂 Everyone

どなたでも利用できる食堂です。

会場 中央区有明大橋町8-14 (新瀧マツタ有明台店向かい)
開催日 第2・4火曜日 16:30～
参加費 子ども50円 大人200円
ご案内 新型コロナウイルス感染症の予防のため、食堂内で飲食できません。テイクアウトで自宅へ持ち帰って食べてください。事前に電話等で予約をお願いいたします。ご不便をお掛けします。が宜しくお願います。
連絡先 090-6000-17223



お茶の間の案内

＜有明台地区民生委員・児童委員協議会＞
昨年2月末に市内でも新型コロナウイルス感染症が発生して以来、民生委員・児童委員の活動に対しても、厚生労働省から全国民生委員児童委員連合会を通して「感染防止に向けた対応」として、感染予防・拡大防止を優先とした、無理のない範囲での活動を」との通知がありました。
日ごろ、見守り、声掛けやお宅を訪問する際には、マスクの着用、消毒用ハンドスプレー、除菌用ウェットティッシュ等の携行、ソーシャルディスタンスを意識した会話など、お互いの感染予防に配慮した行動となっています。
活動のスタイルがこれまでと違ったとしても相手の立場に立って活動する原点は変わりません。
私たちの活動は、地域にとって欠かすことができません。地域住民に寄り添い、行政や関係機関との懸け橋となるよう努めて参ります。

通学路の安全確保の取組等

安全交通部会

1 メゾン団九郎脇の通学路のブロック塀の撤去とフェンスの設置

以前、メゾン団九郎敷地沿いにある大谷石造の塀が取り壊された後、道路向かい側のブロック塀が撤去され代わりにフェンスが設置されました。通路幅が狭いため、地震による倒壊を想定すると子どもたちはもとより大人でさえ逃げるのができない状況でした。フェンスになり安心して通学できるようになりました。(令和2年)



ブロック塀からフェンスへ

2 関屋恵町地内通学路のマンホール蓋の撤去

急こう配な通学路のセンターに下水道のマンホールの蓋があり、特に冬季間の積雪時に子どもたちが滑ってころび非常に危険な状況でした。地元関屋大川前1区自治会から撤去の要望があり、下水道管理センターの現地調査の結果、機能していないことが判明し、降雪前に蓋の撤去工事が完了しました。(令和2年12月)



ツルツルマンホール撤去

3 堀割町地内に防犯灯の設置

JR越後線沿いの通学路に電柱を新設し、LEDの防犯灯が設置されました。有明台ひま

4 コミ協事務所裏の通学路のブロック塀の撤去

JR越後線とコミ協事務所の間にはブロック塀が設置されていました。通学路の総点検会議で危険箇所とされていました。(令和3年2月)



ブロック塀の撤去

わりクラブ一人帰り帰宅支援ボランティアから、特に冬季間防犯上の隙間を解消して欲しいと要望を受けていた場所です。(令和3年2月)



LEDを新設

5 堀割町内の歩道橋の撤去

西大通りに架かる堀割町歩道橋は、鉄骨部の錆や腐食で橋全体が劣化し大変危険な状況です。有明台小学校の通学路であり、早急に撤去されるよう4～5年前から要望しています。



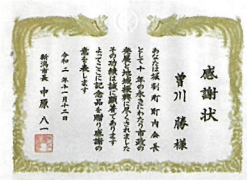
歩道橋の撤去(予定)

11月28日(土)	青少年育成協議会設立60周年記念式典・講演会等
11月28日(土)	薬師神社宮委員会(薬師神社)
12月18日(金)	中央区教育ミーティング
12月18日(金)	日野浦委員出席
12月20日(日)	第8回中央区自治協議会
12月20日(日)	第6回理事・専門部会正副会長会議 14名出席
12月25日(金)	歳末防犯防火夜間パトロール(～27日)
12月31日(木)	薬師神社大祓い
1月1日(金)	薬師神社元旦祭
1月12日(火)	地域コミュニティ育成事業打合せ(市役所本館)
1月18日(月)	中央区コミ協連絡会第1回研修会(中央区役所)
1月20日(水)	地域コミュニティ育成モジュール事業・第1回勉強会(有少)
1月20日(水)	第7回理事・専門部会正副会長会議 16名出席
1月29日(金)	第9回中央区自治協議会
1月31日(日)	防災士の会中央区支部会議(白新コミュニティハウス)
2月19日(金)	地域コミュニティ育成モジュール事業・第2回勉強会(有少)
2月19日(金)	第8回理事・専門部会正副会長会議 12名出席
2月26日(金)	第10回中央区自治協議会
3月19日(金)	第11回中央区自治協議会
3月20日(土)	第9回理事・専門部会正副会長会議
3月23日(火)	有明台小学校第66回卒業証書授与式

受賞おめでとうございます

地域振興部会

自治会長等永年勤続表彰受賞



編割町 曾川 勝氏
令和2年11月12日、新潟市民プラザにおいて、編割町町内会長の曾川勝氏に自治会長等永年勤続表彰として感謝状が贈呈されました。

曾川氏は、地元町内会長のほか、有明台小学校区「コミュニティ協議会」の理事として、より良い地域社会を作るための先導役として尽力してこられました。

「お世話になったご近所の方々への恩返し」と思い、引き受けた町内会長でしたが、あっという間に10年が過ぎました。掘割町内会館周辺の緑化活動をはじめ様々な活動を続けてこられたのも、地域の皆さんの協力があつたからこそです。」

(曾川 勝氏のお話)

優良町内防火協会表彰受賞



文京町防火協会

貴防火協会は、一致協力して地域における火災予防思想の普及と防火資材等の充実を図り、火災の未然防止に努められ住民の福祉増進に寄与された功労は多大で他の模範であります。よってここに表彰します。

(新潟市防火連合協議会会長)

地域コミュニティ育成事業(モデル事業)の取組

1 目的

今年度の新規事業として「地域コミュニティ育成事業(モデル事業)」に取り組むことを決定しました。その背景として、次の3点を挙げる事ができます。

- (1) 地域を支える活動への住民の関心が薄い。
- (2) 一部のみに業務が偏っており、運営の仕組みがあまり機能していない。
- (3) 運営側の人手が不足しているとともに、高齢化が進み、手が打っておくことによって、現在活動している人ができなくなった時に、地域を支える活動がストップしたり、困る人が出てこないようにします。

2 方法

- (1) 第1回勉強会(1月20日)は、「有明台地区の予測される将来の姿と地域を支える活動について」講義を受けた後、5グループに分かれて年間の活動全体やポリシー等を俯瞰し、「活動の振り返りと見直しシート」により改善すべき点等について意見交換しました。
- (2) 第2回勉強会(2月19日)は、活動や組織体制の見直しの意義について説明を受けた後、各グループで意見交換を行いました。その後、意見交換の結果を発表しました。
- (3) 勉強会の助言者

- 新潟市役所市民協働課
- 係長 尾崎利枝子 様
- 主事 狩野 慧 様
- NPO法人まちづくり学校
- 副代表理事 横尾 文子 様
- 理事 山賀 昌子 様



各グループが発表



解説「予測される将来の姿」

避難所運営現地検討会の開催

平成2年10月7日及び同月13日に、津波避難ビル及び避難所に指定されている有明台小学校と関屋地区公民館において、避難所運営現地検討会が開催されました。

今年は、各施設管理者、避難所指名職員・担当職員、各自治町内会の代表及び津波避難ビルの合い鍵保管者から参加して頂き、「検討シート」に基づき、現地で検討会を開催しました。

今回のテーマは「避難所における新型コロナウイルス感染症対策」でした。感染症対策用に部屋割と導線を検討したり、感染症対策の作業と役割分担の確認を行いました。



編集三昧

日曜日のテレビ番組「笑点」で放送されたお題「18歳と81歳の違い」を2ページ以降の欄外に載せてみました。